

科名 外科

対象疾患 HER2陽性転移再発乳癌

プロトコール名 フェスゴ+エリ布林(2回目以降)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	皮下注		フェスゴMA	10mL	大腿部に5分以上かけて 初回忍容性良好であれば投与後15分経過観察	↓						
2	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓				
3	点滴注	側管	エリ布林	1.4mg/m ²	全開で(10分以内)	↓		↓				
			生食	30mL								

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<フェスゴ>

痩せている等、皮下組織が少ないまたは下肢浮腫により大腿部への皮下投与が難しい患者はペルツズマブ、トラスツズマブの点滴静注の投与を検討
6週以上投与間隔が空いた場合はフェスゴINから投与する。

投与部位は大腿のみ(トラスツズマブ皮下製剤の試験において腹部に比べ大腿への投与のほうがバイオアベイラビリティが30%高かったとの報告がある。)

<エリ布林>

投与にあたっては、投与開始基準、減量基準を参考に必要に応じて、投与を延期、減量または休薬すること。

減量を行なう際、次の用量を考慮すること。

減量前の投与 → 減量後の投与量

1.4mg/m² → 1.1mg/m²

1.1mg/m² → 0.7mg/m²

0.7mg/m² → 投与中止を検討